

平成18年度第3四半期再資源化預託金等特別会計収支計算書の前年度同期実績との比較について

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

① 預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
新車購入時預託	603万台	398万台	411万台	△13万台
継続検査時等預託	2,141万台	1,814万台	2,313万台	△499万台
引取時預託(※1)	115万台	158万台	186万台	△29万台
引取時預託(※2)	27万台	13万台	4万台	8万台
合計	2,887万台	2,383万台	2,915万台	△532万台

(※1) エアコン後付預託を除く。

(※2) エアコン後付預託のみ。

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)

	平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
ASR	約6,400円	6,231円	6,249円	△18円
エアバッグ類	約2,300円	2,293円	2,239円	54円
フロン類	約2,100円	2,080円	2,102円	△22円
合計	約10,800円	10,604円	10,590円	14円

(3) 品目別の装備率

	平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
エアバッグ類	72%	70%	59%	11
フロン類	95%	89%	82%	7

(4) 金額

	平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
	286,265,559千円	229,977,105千円	270,569,181千円	△40,592,076千円

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
新車購入時預託	603万台	398万台	411万台	△13万台
継続検査時等預託	2,141万台	1,814万台	2,313万台	△499万台
引取時預託	115万台	158万台	186万台	△29万台
合計	2,859万台	2,370万台	2,911万台	△541万台

(2) 金額

	平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
	6,576,418千円	5,450,550千円	3,784,103千円	1,666,447千円

【継続検査時等預託について】

継続検査時等預託における普通貨物車等の預託が前年度でもってほぼ完了しているため、平成18年度第3四半期の継続検査時等預託台数は前年度同期実績を下回っている。

【引取時預託(エアコン後付預託を除く)について】

引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている(=引取時預託台数(エアコン後付預託を除く)の比率が低下している)ことから、平成18年度第3四半期の引取業者引取時の預託台数(エアコン後付預託を除く)は、前年度同期実績を下回っている。

なお、平成18年度の引取業者引取台数に対する引取時預託台数(エアコン後付預託を除く)の比率が当初想定を上回っていることから、平成18年度第3四半期の引取時預託台数(エアコン後付預託を除く)は平成18年度年間予算想定台数を上回った。

①継続検査時等預託において、装備率が比較的低いと想定される貨物車の預託が終息に向かい、乗用車の預託比率が高まっていると想定されること、②継続検査時等預託台数の減少に伴い装備率が比較的高い新車購入時預託の比率が高まっていることから、平成18年度第3四半期の装備率は前年度同期実績を上回っている。

平成18年度第3四半期の預託台数は前年度同期実績を下回っているが、1台当たりの情報管理預託金が前年度の130円から平成18年度は230円となっていることから、平成18年度第3四半期の情報管理預託金預り収入の額は前年度同期実績を上回っている。

②特定資産運用収入－再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
5,840,662千円	4,100,521千円	1,290,316千円	2,810,205千円

保有債券残高の積み上がり等により平成18年度第3四半期実績は前年度同期実績を上回っている。

【参考】保有債券残高

平成18年度 第3四半期末残高(a)	平成17年度 第3四半期末残高(b)	実績対前年度差異 (a) - (b)
6,260億円	3,079億円	3,181億円

2. 事業活動支出

①預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1)品目別の払渡台数

	平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
ASR	342万台	257万台	197万台	60万台
エアバッグ類	69万台	52万台	31万台	21万台
フロン類	273万台	191万台	152万台	38万台

平成18年度の引取業者引取台数は前年度を上回るペースで推移しているため、平成18年度第3四半期の払渡台数は前年度同期実績を上回っている。

【参考】引取業者引取台数

平成18年度 第3四半期実績(a)	平成17年度 第3四半期実績(b)	実績対前年度差異 (a) - (b)
265万台	219万台	46万台

(2)品目別の平均単価

	平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
ASR	約5,900円	5,909円	5,851円	58円
エアバッグ類	約1,900円	1,867円	1,844円	23円
フロン類	約2,100円	2,092円	2,091円	1円

(3)金額

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
27,184,521千円	20,130,130千円	15,278,572千円	4,851,558千円

情報管理預託金払渡支出

(1)台数

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
342万台	274万台	217万台	57万台

(2)金額

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
576,680千円	503,979千円	281,819千円	222,160千円

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
67,243千円	36,186千円	0.6千円	36,185千円

平成16年度の利率は0.004%であったが、平成17年度の利率は0.38%であることから、平成18年度第3四半期実績は前年度同期実績を上回っている。

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
31万台	22.0万台	0.7万台	21.3万台

(2)金額

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
3,138,012千円	2,137,196千円	74,544千円	2,062,653千円

輸出返還は平成17年7月から開始されたために前年度同期実績はまだ少ない。よって、平成18年度第3四半期の輸出返還台数は前年度同期実績を上回っている。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
7,394千円	6,062千円	0.016千円	6,062千円

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
761,556千円	761,556千円	413,578千円	347,978千円

【参考】出えん実績

出えん先	出えん額(※)	
	平成18年度	平成17年度
指定再資源化機関	414,377千円	413,578千円
情報管理センター	350,000千円	-
合計	764,377千円	413,578千円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
2,821千円	2,821千円	0.017千円	2,821千円

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
32,273,736千円	24,039,308千円	16,595,772千円	7,443,536千円

預託金払渡支出・預託金輸出返還支出・他会計への繰入金支出の平成18年度第3四半期実績が前年度同期実績を上回っていることから、これらの支出の原資となる特定資産取崩収入の平成18年度第3四半期実績も前年度同期実績を上回っている。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成18年度 年間予算	平成18年度 第3四半期決算(a)	平成17年度 第3四半期決算(b)	決算対前年度差異 (a) - (b)
337,348,392千円	259,654,873千円	294,162,472千円	△34,507,599千円

継続検査時等預託台数の減少により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理人の口座への入金額も減少していることから、平成18年度第3四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回っている。